

平成 24 年度 秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」運営評価委員会

特定非営利活動法人あきたパートナーシップは、秋田県ゆとり生活創造センターの指定管理者として、センターがさまざまな利用をしている県民の声を生かし、円滑に運営されるよう、管理方法や運営のあり方について評価・提言をしていただくため、「秋田県ゆとり生活創造センター運営評価委員会」を設置しています。

平成 24 年 7 月 3 日（火）開催の運営評価委員におきまして、平成 23 年度の評価・提言を頂きました。

運営評価委員

国際教養大学グローバルスタディーズ課程長 地域環境研究センター	前中 ひろみ
マックスバリュ東北株式会社	山本 まゆみ
NPO法人 あきた地域資源ネットワーク	鑑 啓 記
上北手地区振興会	熊谷 金悦
秋田地区交通安全協会上北手支部	鎌田 勇
遊学舎団体事務ブース 秋田県経営品質協議会	柿崎 博美
遊学舎活動サークル 桜囲碁サークル	佐々木 一志

運営評価

(評価点数は 5 点満点の平均点です)

1. 管理業務の実施状況について		
	①施設の利用状況はどうか。	4.3
	②適切な管理運営を行う体制が整っているか。	4.8
	③適切な施設の維持管理がなされているか。	4.3
	④収支状況、財務状況は安全かつ健全か。	4.6
2. 企画運営について		
	①施設の設置目的に沿った運営がなされているか。	4.8
	②事業の実績状況はどうか。	4.8
	③利用者に対するサービス向上の取り組みがなされているか。	4.8
	④利用者の意見を反映した運営がなされているか。	4.6

総合所見

- 全体としては、満足できる運営が行われていると評価できる。
- 特に問題なく運営されている。
- 収支にこだわった運営では、サービスの低下となって現れてくるので注意してほしい。
全体的にはよく運営されている。
- H18～H23 年度の間に約 1 万人増と安定した利用者がいることは、大変喜ばしいことで、
なおかつ 8 割以上の方々から、今後も遊学舎を利用したいという利用者満足度調査の結果
をいただいている点に注目する。
- コミュニティの拠所としての基盤が出来つつある。
再度、組織のあるべき姿を創造し地域に活力を提供してほしい。
- 全体的によくやっている。